

サポカー講習会ほか

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

サポカー体験会をこれまでも開催・実施してきたが、R6より、近隣施設（協働センター）協力のもと、地域住民に向けた出張体験会を実施して事業の拡充を図る。体験会を通じて、サポカーの有効性を実感いただくとともに、交通安全の大切さを再認識する機会を広く提供していく。

実施場所

市内全域

対象者

高齢者

開始年度

令和6年

予算

990 千円

実施内容

【サポカー講習会プログラムの一例】

- ・座学（高齢者の事故状況や要因の説明、サポカーの機能説明）
- ・衝突被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い急発進抑制装置の同乗体験
- ・交通安全資機材の体験（クイックアームなど）
- ・交通安全啓発品・ちらしの配布

URL

高齢者交通安全対策事業

高齢受給者証による交通安全啓発事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

高齢者の交通安全意識向上策

実施場所 市内全域

対象者 高齢者

開始年度 平成17年

予算 266 千円

実施内容

市内の事故発生状況、高齢者事故の特徴、反射材の着用効果等について記載された交通安全チラシ（靴用反射材付き）を、毎月約600～800人の高齢者宛に通知される「国民健康保険高齢者受給者証」の発送封筒に同封し、配布する。

URL

幼児・小学生交通安全対策事業

直轄事業

実施目的

各年齢に応じた交通安全冊子を配布し、保護者や先生等の交通安全教育教本として活用いただくとともに、こども自身の交通安全意識の高揚を図る。

実施場所

市内保育園、幼稚園、小学校

対象者

幼児、小学生

開始年度

予算

1324 千円

実施内容

対象者は、市内の保育園の新3歳児クラス及び幼稚園新入園児と小学1年生で、各年代に応じた交通安全冊子を配布する。現在は、保育園・幼稚園には交通安全ぬりえ、小学校には交通安全教本を配布している。

URL

高齢者

こども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

中学校交通安全対策事業

直轄事業

実施目的

自転車利用する機会の増える中学生に対し、自転車の基本的なルールである「自転車安全利用五則」の記載されたクリアファイルを配布する。

実施場所

市内中学校

対象者

中学生

開始年度

予算

272 千円

実施内容

対象者は、市内の中学1年生で、中学校を通して「自転車安全利用五則」の記載されたクリアファイルを配布する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全運動

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ヘルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

全国運動（4・9月）と県民運動（7・12月）期間における街頭広報等、交通安全啓発活動を推進する。

実施場所

市内全域

対象者

全市民

開始年度

予算

304 千円

実施内容

各季の運動期間で定める主要事業を軸に地域で一斉街頭広報を実施するほか、各年代に応じた参加・体験型交通教室を広く開催し、安全意識の高揚につなげる。

URL

市民大会事業

直轄事業

実施目的

市民活動団体、警察関係団体等が協力し、市民生活に深く影響を及ぼす暴力・交通事故・薬物乱用の問題を広く市民に訴え、互いに確認し合うことで、さらに明るく住みよい浜松を目指す。

実施場所

アクトシティ浜松

対象者

全市民

開始年度

昭和41年

予算

400 千円

実施内容

【R7大会プログラム】

- (1) 開会のことば
- (2) 交通事故犠牲者に対する黙とう
- (3) あいさつ
- (4) 高校生交通安全標語コンクール表彰
- (5) ひまわりの種引継ぎ式
- (6) 静岡県警察音楽隊による演奏
- (7) 大会宣言
- (8) 閉会のことば

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

ヒヤリハットシステムサービス事業

直轄事業

実施目的

交通環境でヒヤリハットした事例を情報収集し、潜在的な危険個所をマップで可視化することで、幅広く市民の交通安全意識を高めるとともに、未然の事故防止につなげる。

実施場所

市公式LINE

対象者

市民一般

開始年度

令和8年

予算

3217 千円

実施内容

交通事故までに至らないヒヤリハット事例から要因を分析し、必要な事故対策の検討に活用する。市公式LINEアカウントの「通報サービスいっちょお！」に新規項目として追加。市民が体験したヒヤリハット事例を写真や位置情報付きで通報してもらう。市は事例を収集・分析し、潜在的な危険個所を把握し事故防止対策を検討する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

地域交通指導員による登校指導

直轄事業

実施目的

浜松市における交通事故防止を目標に市民の交通安全思想の普及に貢献するとともに、会員相互の親睦を図り、もって交通安全の推進に寄与することを目的とする。

実施場所 中央区内

対象者 小中学生

開始年度 昭和52年

予算 251 千円

実施内容

浜松市浜松地域交通指導員会（有償ボランティア団体）に所属する交通指導員が、交通量の多い交差点や通学路上において、小中学生が安全に道路を渡ることができるよう指導及び見守りを行う。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

飲酒運転削減対策事業

直轄事業

実施目的

飲酒・暴走運転を追放し、もって交通の安全と明るい社会の実現を図ることを目的とする。

実施場所 市内駅前施設（下記参照）

対象者 成人

開始年度

予算 406 千円

実施内容

飲酒の機会が増加する年末の夕方から夜間に駅前のギャラリーモール「ソラモ」において、市・警察・関係団体とともにパトカーや白バイの展示、のぼり旗の掲出や通行人に啓発品を配布し啓発活動を実施する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

若者交通安全対策事業

委託事業 交通教育センターレインボー浜名湖

実施目的

浜松市における若者起因事故を防止するため、若者ドライバーを主体とした研修会を開催して交通安全意識を高める。

実施場所 市内施設（※1）

対象者 成人

開始年度

予算 505 千円

実施内容

対象者は、安全運転管理協会に加盟する事業所の中から10～30歳代の運転者で、一切に危険を体験できる施設で車両に乗車し、正しいブレーキ操作や人間の反応の限界等を体験し、より安全に運転するための知識を深める。（対象者は安全運転管理協会を通じて研修参加者を募集）

（※1）交通教育センターレインボー浜名湖で実施。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

マスメディア等を活用した事業

委託事業 浜松ケーブルテレビ

実施目的

地域のケーブルテレビ（浜松ケーブルテレビ）と製作放送業務の委託契約を行い、交通安全に特化した番組を放送して交通安全情報を広く提供する。

実施場所 市内全域

対象者 ケーブルテレビ契約者

開始年度 予算 1320 千円

実施内容

番組は、

- ・市内の危険な交差点の紹介
- ・交通安全イベントや事故対策状況等のレポート
- ・交通事故の発生状況と事故防止のポイント

など3パートで構成されており、当職員が毎月企画・出演している。

放送時間は10分／回を1日3回放映され、1ヶ月間のリピート放送となる。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通事故削減キャンペーン事業

「生命（いのち）のメッセージ展」開催事業

委託事業 特定非営利活動法人いのちのミュージアム

実施目的

実際に交通事故に遭われた犠牲者に関する展示により生命の大切さを伝えるとともに、交通安全意識を高め、交通事故を防止する。

実施場所 市・区役所、行政センター 対象者 市民一般

開始年度 令和5年 予算 110千円

実施内容

『交通事故で理不尽に奪われた犠牲者一人ひとりの等身大の人型パネルを展示し、その胸元に本人の写真や家族の言葉を貼り、足元に「生きた証」である靴を置く』という設定のアート展を実施。
夏休み期間中に、市内5カ所の自動車学校において巡回展示を予定している。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通事故削減キャンペーン事業

民間大型ビジョンを活用した広報啓発活動

委託事業

(株) OKプランニング

実施目的

交通事故削減に向けた広報啓発活動の一環として、市街地中心部の鍛冶町通りに設置された大型ビジョンを活用した交通安全広報を実施する。

実施場所

中央区鍛冶町

対象者

市民一般

開始年度

令和元年

予算

1320 千円

実施内容

ドライバーや通行人に交通事故の負のイメージを周知することにより、ルール・マナー違反や危険な運転をしない、許さないという意識を醸成する。

1回30秒の動画を2種類、1時間に4回（月2,040回）以上リピート放映を行う。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

疑似体験でわかる中・高校生交通安全教室実施業務

委託事業

(株) ホンダレインボーモータースクール 交通教育センターレインボー浜名湖

実施目的

中学生・高校生が、疑似的に危険を体験することによって、交通事故をよりリアルに感じさせるきっかけをつくり、実際に遭遇する危険とそれに対処するための具体的な知識や技術の獲得につなげ、自転車マナーや交通安全意識の向上と交通事故防止を図る。

実施場所

中央区内中学校・高等学校

対象者

中学生・高校生

開始年度

令和3年

予算

891 千円

実施内容

- ① 交通安全のインストラクターによる交通事故の再現（衝突させず衝突前で止める）
 - ・ 右折、左折巻き込み事故、出会い頭模擬事故の見学
 - ・ 自転車特有の危険性や交通事故発生メカニズムを理解
 - ・ 安全な通行+自転車の乗り方についてレクチャー
- ② ①の体験の後、事故が起こった原因とそれに対処するための具体的な知識や技術についての解説。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

中央区『交通安全の手引き』作成・配布事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ヘルト啓発
イベント
運動調査
研究市民
参加自転車
等反射
材飲酒
運転
根絶その
ほか

直轄事業

実施目的

交通事故に遭わない・遭わせないためのポイントをまとめた手引き・チラシを配布することで、市民への交通事故・交通事故多発箇所についての注意喚起及び交通安全意識の向上を図る。

実施場所 中央区内（下記参照）

対象者 市民

開始年度 平成26年

予算 270 千円

実施内容

下記の内容をまとめた手引き・チラシを作成し、学校等の交通安全教室や各種イベント、窓口で配布する。

（主な掲載内容）

- ・区内の人身事故発生状況
- ・区内の交通事故多発マップ
- ・交通安全のルール
- ・交通安全に係る最新の動き（ヘルメット着用の努力義務化など）
- ・反射材を身に付けることの効果と重要性

（配布場所）

- ・学校等の交通安全教室で配布
- ・「協働センターまつり」等の各種イベントで配布
- ・希望に応じて、自治会等に配布
- ・窓口配布

URL

安全運転サポート車体験講習会開催事業

直轄事業

実施目的

講習会を通して加齢に伴う認知機能の低下が交通事故の原因になることを学ぶことにより、交通意識の向上を促進し、交通事故を防止する。

実施場所 中央区内

対象者 成人・高齢者

開始年度 令和4年

予算 330千円

実施内容

安全運転サポート車の助手席または後部座席に乗車し、安全性能を体験する。

(内容)

- ①座学：加齢に伴う認知機能の低下が自動車運転等にもたらす影響や事故に遭わない・遭わせないための注意点等を解説
- ②測定機器で反応速度（俊敏性）を測定
- ③安全運転サポート車体験

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

浜松市交通安全講習会・サポカー乗車会

委託事業 交通教育センターレインボー浜名湖

実施目的

高齢者等に対し交通安全講習会を開催することにより、日頃の交通マナーを振り返るとともに、参加者が自身の身体能力を再認識することで交通安全に関する意識の向上を図り、交通事故防止に繋げていただくもの。

また、講習会を通じて、サポカーの有効性を実感いただくとともに、交通安全の大切さを再認識する機会を提供する。

実施場所 市内施設（※1）

対象者 中央区東地域内の高齢者等

開始年度 令和 2 年

予 算 171 千円

実施内容

高齢者等の交通安全講習会の開催

○講習内容

- ・交通事故ケーススタディ
- ・反射材を使用した夜間視認性確認
- ・自動車反応ブレーキ体験
- ・サポートカー体験乗車

（※1）交通教育センターレインボー浜名湖で実施。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生チ
ャ
イ
ル
ド
シ
ー
ト
ベ
ル
トイ
啓
発
運
動
ト調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

疑似体験でわかる交通安全教室

委託事業 交通教育センターレインボー浜名湖

実施目的

自転車事故の負傷割合が多い中学生が、疑似的に交通の危険を体験することで交通事故をよりリアルに感じることができるきっかけをつくり、実際に遭遇する危険とそれに対処するための具体的な知識や技術の獲得につなげる。

これにより、中央区の課題である中学生の自転車マナーや交通安全意識の向上と交通事故防止を図る。

実施場所 中央区内中学校（※1）

対象者 中学生、学校職員等（※2）

開始年度 平成25年

予算 594 千円

実施内容

生徒自ら事故原因を考え自転車マナーを省みる機会の提供。
自転車マナー向上と交通事故防止のための啓発及び交通安全教育の実施。

○グラウンドで実施する場合

- ・交通事故の実演（右左折巻き込み事故、出会い頭事故等）
- ・反応ブレーキ体験
- ・交通安全講話

○体育館で実施する場合

- ・CGによる危険予測トレーニング
- ・反応ブレーキ体験
- ・交通安全講話

（※1）中央区東地域内中学校グラウンド（雨天：体育館）で実施。

（※2）中央区東地域内中学生及び学校職員等が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

中央区東地域交通事故撲滅作戦

委託事業 未定

実施目的

大型商業施設において交通安全フェアを開催し、さまざまな年齢層に対し交通安全について考える機会を提供し行動に結びつけてもらう。また、年間を通じて交差点等において街頭広報を実施し交通事故撲滅を目指す。

実施場所

中央区内大型商業施設ほか

対象者

市民一般

開始年度

平成22年

予算

550 千円

実施内容

○交通安全フェアの開催

- ・高校書道部による交通安全をテーマにした書道パフォーマンス
- ・交通安全指導員による体験コーナー（クイックアーム等）
- ・浜松東署による展示コーナー（白バイ）
- ・静岡県警音楽隊による演奏
- ・反射材及び啓発チラシ等の配布

○年間を通じての交通安全の声かけ

- ・主要交差点等の街頭広報
- ・店舗前街頭広報

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

公用車を活用した交通事故ワースト 1 脱出作戦

委託事業

実施目的

東行政センター所管の公用車のリアガラスに交通安全啓発ステッカーを貼り、市民や後続車両に交通安全を呼び掛ける。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

令和 2 年

予 算

0 千円

実施内容

現状使用中のステッカーの状態が良いため、R 8 年度は引き続き使用する。
そのため、R 8 年度は予算はなし。

URL

高
齢
者

こ
ど
も

中
高
生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調
査
研
究

市
民
参
加

自
転
車
等

反
射
材

飲酒
運転
根絶

そ
の
ほ
か

地域交通指導員による登校時指導

直轄事業

実施目的

地域交通指導員が通学時間帯における登校指導を実施することにより、交通事故防止と地域住民及び子どもたちの交通安全意識を高める。

実施場所

中央区雄踏町地内

対象者

小・中学生

開始年度

昭和52年

予算

336 千円

実施内容

浜松市雄踏地域交通指導員会に所属する交通指導員13名が交代で休校日を除く週2回（月・金）早朝に、雄踏地域内の主要交差点6箇所において小・中学生が安全に通学できるよう、登校指導及び見守りを行う。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全推進事業

協働センターまつりにおける交通安全啓発活動

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

協働センターまつりにおいて交通安全啓発コーナーを出展することで、広い世代に対し交通安全意識の向上を図り、交通事故を抑止する。

実施場所 中央区内施設（※1）

対象者 市民一般

開始年度 平成29年

予算 75 千円

実施内容

協働センターまつり（2箇所）において交通安全啓発コーナーを出展し、ゲーム感覚で体験できる反射測定機器等を使用して参加者の身体能力を測定する。参加者へ反射材等の啓発品を配布し、交通安全を呼び掛ける。

（※1）浜松市中央区西地域協働センター 2 箇所を選定し、実施する。

URL

交通安全推進事業

地域選定型高齢者交通安全教室

委託事業 交通教育センターレインボー浜名湖

実施目的

加齢による身体能力の変化等の再認識及び自動車の安全対策機能を体験することにより、高齢者の交通安全意識の向上と事故防止を図る。

実施場所 市内施設（※1）

対象者 中央区西地域在住の高齢者

開始年度 平成28年

予算 776 千円

実施内容

浜松市中央区西地域の中から4地区を選定し、高齢者交通安全教室を実施する。浜松西警察署警察官によるちいきの交通事故状況講話、サポカーによる自動車安全装置体験ほか参加型講習（歩行中の事故予防、薄暮時や夜間の危険性及び反射材の効果、自動車の停止距離）を行う。

（※1）交通教育センターレインボー浜名湖で実施。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

小学生サイクルマナー教室

補助事業 和地コミュニティ協議会

実施目的

浜松市立和地小学校、伊佐見小学校の6年生を対象に、交通事故防止と安全意識の向上を図るため、サイクルマナー教室を開催する。小学生自らが事故原因や危険性を考え理解し、自身の自転車マナーを省みる機会を提供する。

実施場所 静岡県セイブ自動車学校 対象者 小学校6年生（※1）

開始年度 令和6年 予算 240千円

実施内容

- ①講座：学区内の危険箇所、自転車のルール、ヘルメット着用の必要性について学ぶ。
- ②実技：セイブ自動車学校の教習コースを参加者全員で自転車にて走行する。坂道でのブレーキのかけ方、2段階右折の練習、交差点及び標識設置箇所での安全確認について学ぶ。

（※1）浜松市立和地小学校及び伊佐見の小学校6年生が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

イ 啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

地域力向上事業

南地域小学生交通安全啓発事業交通安全啓発グッズの配付

直轄事業

実施目的

新1年生対象に交通安全事故防止のため、自動車運転者等が認識しやすい交通安全啓発品（反射傘）を提供することで、児童の危険防止を図る。

実施場所 中央区南地域（※1）

対象者 令和9年度新小学1年生

開始年度 平成21年

予算 824 千円

実施内容

<内容>

令和9年度に入学する新小学1年生を対象に、交通事故防止や交通安全意識の啓発につながるグッズ（反射傘）を購入し各校へ配付する。

<方法>

6月末までに、本年度配付した反射傘の利用状況や有用性、意向等のアンケート調査を実施。それらを参考に啓発品の選定を行う。12月頃、令和9年度入学予定児童数を確認し発注。翌年3月各学校に届け、令和9年度の入学式において新1年生に配付してもらうよう依頼する。

（※1）浜松市中央区南地域の公立小学校および特別支援学校で実施。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

南地域小学生交通安全啓発事業交通安全教室

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反教材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

小学生に対し、交通ルールと安全な横断方法等を指導し、交通事故防止を図る。
また、小学校に入学した1年生は、今までより生活圏・行動範囲が広がり、交通ルールや交通標識等もまだしっかりと認識しておらず、交通事故に遭う危険性が高いため、安全な歩行や横断歩道の渡り方など交通安全意識の醸成を図る。

実施場所 中央区南地域（※1）

対象者 小学生

開始年度 平成21年

予算 0 千円

実施内容

南地域内の市立小学校9校を対象に実施。具体的な内容は交通安全協会と学校が打ち合わせを行い、各校の要望に合わせた内容で決定する。「走っている人や自転車が停止するまでの距離を知る制動距離実験」「反射材の効果やヘルメット着用の大切さを知ってもらう実験」「傘を持つの歩行訓練」等。
啓発チラシの配布や教室のサポート等必要に応じて南行政センターで対応する。

（※1）浜松市中央区南地域の公立小学校で実施。

URL

地域力向上事業

南地域高齢者交通安全啓発事業

委託事業 交通教育センターレインボー浜名湖（予定）

実施目的

昨今ブレーキとアクセルの踏み間違いや道路の逆走等、高齢運転者の認知機能や身体機能の低下が原因とみられる交通事故が頻発し、社会問題となっている。また、南地域は65歳以上の人口構成比が年々増加傾向にある。そこで、高齢者を対象に体験型の交通安全啓発を行い、加齢による身体能力の変化等を再認識してもらうことで、高齢者の交通安全意識の向上、交通事故防止につなげる。

実施場所 市内施設（※1）

対象者 高齢者（※2）

開始年度 令和 4 年

予 算 171 千円

実施内容

<内容>

安全運転サポート車の効果を体験できる施設において、「高齢者に多い歩行中の事故についての解説」や「夕暮れ時や夜間における危険性についての解説」、「自動車反応ブレーキ体験」、「サポートカー安全装置体験」等、高齢者向けの体験型交通安全研修会を業務委託により実施する。

<方法>

自治会より参加者を募り（20人予定）、受託業者の協力のもと実施する。

（※1）交通教育センターレインボー浜名湖で実施する予定。

（※2）浜松市中央区南地域に居住する高齢者（最大20人）が対象。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生チ
ャ
イ
ル
ド
シ
ー
ト
ベ
ル
トイ
啓
発
運
動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

自転車反射材配付（高校生）

直轄事業

実施目的

自転車通学者の多い南地域の公立高校 2 校の安全対策として、自転車反射材を新入生に配布。視認性を向上し、事故防止につなげる。

実施場所 市内高校（2 箇所）（※1）

対象者 高校 1 年生（※2）

開始年度 令和 6 年

予算

実施内容

<内容>

自転車通学者の多い南地域の公立高校 2 校に対し、後方からの追突や接触を避けるための自転車反射材を配布する。配付する自転車反射材は一般につけられている横断中に光るものではなく、同方向に向かう際、後方に対して光るもの。

<方法>

各学校 1 年生徒数を把握し、事故防止対策会議予算で人数分購入。
交通安全協会の教室に合わせ、事前に配布し、教室の際に効果や必要性について啓発を行う。

（※1）浜松南高校及び浜松江之島高校で実施。

（※2）浜松南高校及び浜松江之島高校の 1 年生が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他